

平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	富沢文子
		全体計画				経費区分		-		内線	3354
事務事業名	4111 母子保健事業										
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課										
施 策	01010100 健康づくりの充実										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・健康づくり推進費									
	事業	010000 母子保健事業									
事業目的						事業概要・効果					
母子保健法に基づく各種健診のほかに、健康相談、離乳食講座等を通し、母子の健康の保持、増進を図る。						<p>事業概要</p> <p>母子保健法に基づく各種健診（妊婦・乳児・3か月、1歳、1歳6か月、2歳、3歳）、子育て支援の家庭訪問、健康相談、健康教育、発達障害の疑いの児の相談事業、療育事業を実施する。</p> <p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供達が健やかで、心豊かに育つこと ・親が自覚と責任を持ち、安心して子育てができること 					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
安心こども基金事業補助金を活用し、外国人の子育て支援のための乳幼児健診・相談資料翻訳事業の実施（英語・中国語（簡体字・繁体字）・タイ語・ポルトガル語の翻訳）	生後9～10か月児を対象にした離乳食講座を隔月から毎月に拡大して充実させた。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
全ての乳幼児健診、健康相談において、栄養の集団教育や個別相談を実施。 2歳児健康相談で実施していた歯科検診を、1歳6か月児健診にて実施。	全ての乳幼児健診、健康相談において、栄養の集団教育や個別相談を実施。 ①低出生体重児の届け出、②未熟児の訪問指導、③養育医療に係る事務の実施権限が県から市へ移管された。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健計画の策定 ・妊娠、出産包括支援モデル事業の実施 ・地域少子化対策強化交付金を活用し、高校生版ライフプランセミナーの実施 	

指標名	乳幼児健康診査（3か月～3歳）				
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				100%
	実績	96.0%	97.2%	95.5%	
指標選定の理由	母子保健事業を推進し、健やかな子育ての支援として、乳幼児健康診査の受診率を指標とした。				
最終年度目標の根拠	生まれたお子さん全てに支援したいと考えるため。				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		48,174	64,037
特定財源	国庫支出金	688	992
	都道府県支出金	428	496
	地方債	0	0
	その他	60	69
一般財源		46,998	62,480
人員数(人)	正規職員	3.0	4.0
	嘱託職員	1.0	2.0
	臨時職員	0.0	1.0
人員コスト	正規職員	20,574.0	27,432.0
	嘱託職員	2,725.0	5,450.0
	臨時職員	0.0	1,177.0
	計	23,299.0	34,059.0
市民一人当たりの経費		1.4	1.9
総額		71,473.0	98,096.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	3,204	乳幼児健康診査医師・歯科医師謝礼、親子教室（療育事業）講師謝礼 乳幼児心理相談員謝礼他
11節 需用費	935	母子健康手帳、乳幼児健康診査消耗品他
13節 委託費	40,224	妊婦健康診査委託料、乳児健康診査委託料、産後ケア事業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	954	不妊治療補助金、妊婦健康診査補助金
その他	2,857	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	3,341	乳幼児健康診査医師・歯科医師謝礼、親子教室（療育事業）講師謝礼 乳幼児心理相談員謝礼他
11節 需用費	1,077	母子健康手帳、乳幼児健康診査消耗品他
13節 委託費	50,185	妊婦健康診査委託料、乳児健康診査委託料、産後ケア事業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,759	不妊治療補助金、妊婦健康診査補助金
その他	6,675	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	核家族化や育児支援が得にくい家庭も増えている中で、母子保健法に基づく乳幼児健診の実施は育児支援として大事な事業である。また、健やかに子育てができるよう母への支援も大事にしている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	健診未受診者への受診勧奨の徹底を再度確認することや、健診のフォローを確実にやっていくことが今後の課題である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	健診の質も落とさずに、母の思いも大切にしたい満足いく健診内容を実施していく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 事業の継続実施と、未受診者の受診勧奨の徹底、要観察児の確実なフォローを母の思いを大切にしながら実施していく。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

妊婦や母子が孤立することなく安心して生活が出来るように、行政が出来ることをやっていきたい。

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
-----------	-----------

2次評価コメント

母子保健事業の課題抽出と共に、5年間の行動計画を策定する。関係機関と共に妊娠・出産・育児の切れ目ない支援体制を確立する。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--